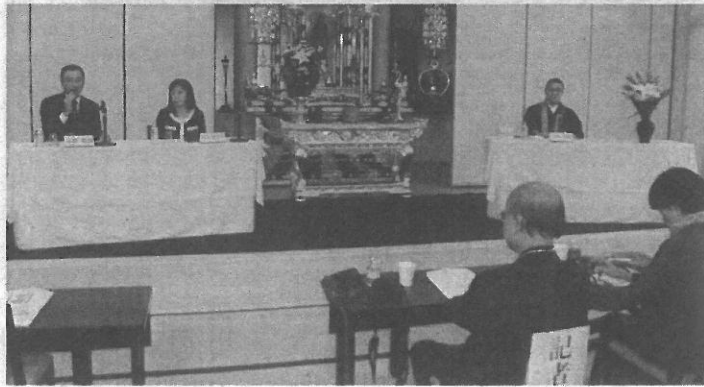


お墓の最新事情を伝える

自動搬送式の納骨堂
「東京御廟」(東京都荒川
区)を運営する真宗系単
立寺院・光明寺は2日、
お墓や供養の最新事情を
伝えるメディア向けのセ
ミナーを開いた。写真。

日本初という「遺品整
理専門会社」キーパーズ
の吉田太一社長が「遺品
整理の現場から学ぶ」と
題して基調講演、その後
パネルディスカッション
があり、第一生命経済研
究所主席研究員の小谷み
どり氏、自動搬送式納骨
堂のシステムを開発した
豊田自動織機の高橋徹也
氏、光明寺の大洞龍徳住
職が意見を交わした。
小谷氏は最近の「終
活」ブームについて、
「高齢者の間で広まって
いるというよりも、高齢
社会をビジネスチャンス
と捉える業界が主導して

東京・光明寺 メディア向けセミナー



いる印象が強い。そもそ
もお墓を子々孫々で守っ
ていくスキームが崩れて
きている」と指摘した。苦
心した」と述べた。
高橋氏は自動搬送式納
骨堂の開発エピソードを
紹介し、「倉庫で製品の
在庫管理や搬送に使う機
械を応用した。供養空間
を壊さないように遺骨搬
送時の消音や振動対策に
大洞住職は「都会でお
墓を持つ経済負担を軽減
するために『東京御廟』
を建てた」と話した。